

夏だ! 祭りだ! ねぶたが来たぞ!



第54回市町村対抗県民体育大会

ソフトボール男子 初優勝

齋藤昌大選手(ボウリング)個人



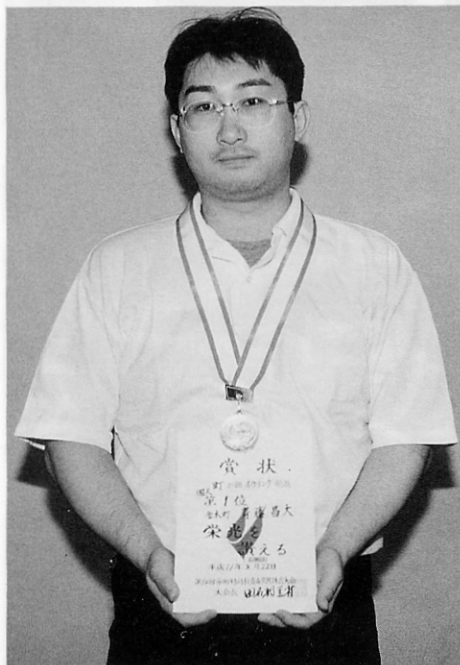
「全員で勝ち取った初優勝」ソフトボール男子

八月二十一、二十二日の両日、むつ市を主会場に開催された「第五十四回市町村対抗県民体育大会」で金木町選手団が大健闘しました。
大平中学校グラウンドで行われたソフトボール男子は、県内の郡予選を勝ち抜いた強

豪八チームが熱戦を繰り広げ、投打のかみ合った金木町が見事初優勝しました。
金木町は、一回戦の平賀町に九対三、二回戦の木造町にも十三対五と順調に勝ち進み、決勝は蟹田町と対戦。一点リードされて迎えた最終回、代

決勝戦

金	木	3	1	0	0	0	2	5	11
蟹	田	2	0	5	0	0	0	1	8



▲ボウリング個人で優勝した齋藤昌大選手

打今正幸選手のスリランで逆転し、十一対八で優勝の栄冠を手に入れました。監督の角田憲美さんは「実力のあるチームなので優勝する自信はありました。二連覇に向けて今後もがんばります」と語り、さらなる活躍を誓っています。
また、三沢ボウルで開催されたボウリング町の部では、齋藤昌大選手(嘉瀬)が見事個人優勝に輝きました。二位に三十四ピンの大差をつけての初優勝に「調子もよく、毎日の練習の成果がうまく発揮できました。来年は団体戦でも上位を目指します」と笑顔で喜びを語っていました。
九月二日、中央公民館で県民体育大会の出場報告会と優

- 勝祝賀会が開かれ、選手団長の鳴海町長が「選手の皆さんは、北郡、金木町の代表としてよく健闘された。私も選手時代を思いだし、応援に力が入った。来年は応援にもっと力を入れ、参加種目も増やしたい。みんなで町の部上位を目指しましょう」とあいさつし、選手一人ひとりにねぎらいの言葉をかけていました。その他の結果は次の通りです。
- 陸上競技
 - 男子C百メートル 第一位
 - 男子A 四×二百メートルリレー 第三位
 - テニス
 - 第三位



小学5年女子 100m



小学校男子 200m



小学4年男子 100m



小学校男子 1.500m



中学1年男子 100m

より速く
より遠くへ
金木町総合体育大会
陸上競技

平成11年度 成人を祝う会



新成人 180人

おめでとう

平成十一年度金木町成人を祝う会が金木町中央公民館で八月十五日、新成人対象者（昭和五十四年四月二日から昭和五十五年四月一日生まれ）百八十人のうち百四十二人が出席して行われました。

はじめに鳴海町長が「二十一世紀を担うみなさんの活躍を期待します」とあいさつし、桑田副議長らが祝辞を述べました。新成人を代表して木田隆紀さん（喜良市）が謝辞を述べ、続いて棟方五月さん（嘉瀬）、と阿部真也さん（金木）が「成人になるということは、環境と責任の変化が起こる時期でもあります。目標に向かって後悔のない生き方をします」と二十歳の主張を述べました。

続いて「二十一世紀 はばたけ金木のワケモノ」と題した記念講演で、講師のラブリー金木代表の角田周さんは「二十代は行動する世代。ど

んどんアクションを起こして、迷わず前に進んでください」と新成人を激励しました。

出席者全員で新成人を祝う乾杯をした後、中学時代の恩師らがそれぞれ思い出スピーチを行い、生徒らの思い出やエピソード、活躍ぶりを語り、当時は懐かしんでいました。

はじめは緊張気味だった新成人たちも、友人や恩師との久々の再会に、記念撮影をしたり、思い出や近況報告を笑顔で語り合っていました。



▲恩師、和田先生と石田先生を囲んで

◀棟方五月さん



▶阿部真也さん



新成人の皆さんに、成人式を迎えた感想や将来の夢、今一番楽しいことなど、いろいろと質問してみました。



成田陽子さん (金木)

成人式を迎えることができ、とても嬉しいです。自分に責任が持てる人間になりたいです。



山中潤哉さん (嘉瀬)

今は、自分のやることなすこと、すべてが楽しい。成人になってやってみたいことは、たばこをやる(？)こと。賢い、立派な大人になるぞ。



木田隆紀さん (喜良市)

しっかりとした理念をもった、尊敬される人になりたい。でも、大人は疲れるなあ。



大橋ひかるさん (喜良市)

やっぱり選挙の投票に行ってみたくですね。年齢を感じさせない大人になりたいです。



秋元仁さん (嘉瀬)

賢い、立派な大人になるぞ。



竹谷大介さん (喜良市)

二十歳になったから、酒の味を覚えたいなあ。将来は、父のようなごっつい人になりたい。



▲前例左側、葛西さん

成人になったけど、僕はまだまだ若い。少年のような純粋な心をもった大人になりたいです。

葛西真澄さん (金木)

たまにしか会えないみんなと飲んだりするのが楽しいです。あつという間に成人になった感じがしますが、これからは、夢のある、みんなに好かれる人になりたいです。

成田副知事 教育講演会



成田栄子副知事を講師に「家庭教育の在り方・子育てについて」と題した講演が八月二十八日、中央公民館で開かれました。

「地域づくりの一助に」と、金木町と金木町社会福祉協会が開設している『だれにでもできるやさしい講座』の事業のひとつとして行われた講演会には、町内の保育所と小中学校PTA、町民ら約百八十人が詰めかけました。

小学校長や青森市教育委員長など長年教育に携わってきた成田副知事は、家庭教育の在り方について六つのポイントを挙げ「①子どもにあふれんばかりの愛を：肌と肌との触れ合いが大切です。幼児期にスキップの足りない子どもは問題を起しがちにな

ります②子どもに任せて自立させることを：口の出しすぎに気を付けながら、自主性の芽を育てましょう③耐性を育てることを：物は与えすぎない。わがままは許さない。決まりを守らせる。自分にプレキをかけられる子どもに育てましょう④性を語り合える親子に：幼児期から親が正しく教えるようにしましょう⑤子どもの心を受けとめる親に：子は親を選べません。子どもはすべてを受けとめてあげましょう⑥配偶者に限りなく優しく：親子も夫婦も愛を与えなければ愛は育ちません。言葉と態度を限りなく優しくしましょう」と講話しました。たくさんさんの体験談や事例を交えた講演に、集まった参加者たちはうなずいたり、感心したり、最後まで熱心に聴き入っていました。



▲親子連れの様も